東海再処理施設の廃止措置の実績(令和7年度上半期分)

1. 廃止措置の実績の概要

(1) 廃止措置の進捗状況

廃止措置計画に基づき、下記項目等について実施(赤字は前回報告からの変更箇所)。

佐山相直計画に基づさ、「記墳日寺について美施(小子は前回報音からの変更固別)。			
令和6年度下半期(実績)	令和7年度上半期(実績)	令和7年度下半期(計画)	
新規制基準を踏まえた安全性向上対策			
・安全対策に係る工事(高放射性廃液貯蔵場 及びガラス固化技術開発施設の内部火災・ 溢水対策等)	-	_	
	高放射性廃液のガラス固化処理		
・新型溶融炉の製作	・新型溶融炉の製作	・新型溶融炉の製作	
	高放射性固体廃棄物の取出し/再貯蔵		
・廃棄物取出し装置の検討	・廃棄物取出し装置の検討	・廃棄物取出し装置の検討	
	低放射性廃液のセメント固化		
・固化体評価 ・硝酸根分解に係る実証プラント規模試験	・硝酸根分解に係る実証プラント規模試験	・硝酸根分解に係る実証プラント規模試験	
	系統除染		
_	•系統除染(汚染状況調査)	·系統除染(汚染状況調査·除染)	
その他			
_	_	_	

※全体工程は別紙1参照

(2) 技術開発の実績

高放射性廃液のガラス固化技術の高度化に係る研究開発として、溶融炉の安定運転に影響を及ぼす白金族元素の炉内への堆積対策を講じた新型溶融炉への更新に向けた製作を実施。

(3) 東海再処理施設に係る予算額

令和6年度:約117億円(補正:約19億円) 令和7年度:約99億円

(4) トラブル

日付	件名	法令報告	対応状況
令和7年6月20日	分析所におけるグロ ーブボックス上部の汚 染確認について	_	グローブボックス上部の汚染は、その上部に設置されている放射性物質を内包する配管接続部(フランジ)の残留汚染の固定処置箇所が劣化し、過去の残留汚染が遊離して落下したもの。当該汚染箇所については汚染を除去した。対策として類似箇所の有無について調査を実施する予定。
令和7年9月28日	ユーティリティ施設 2次冷却水系の警報の 誤作動について	_	ユーティリティ施設において、2次冷却水系の高温貯水槽の液面上限操作上限警報が作動し、2次冷却水ポンプが停止した。液面上限操作上限警報の誤作動によるものと判断し、当該警報を切り離して2次冷却水ポンプの運転を再開した。原因については調査中。

(5) 廃止措置計画変更認可申請・認可の実績(別紙2参照)

①原子力規制委員会への東海再処理施設の廃止措置計画の変更認可申請(補正等含む):1件

②原子力規制委員会による東海再処理施設の廃止措置計画の変更認可:2件 ※原子力規制委員会の東海再処理施設安全監視チーム会合(1回)

2. 廃止措置の実施体制

(1) 人員体制

706名、うち自社員は211名(令和7年9月末現在)

(2) 教育訓練の実績

教育訓練の名称	訓練対象者の種類 及び対象人数(延)	教育訓練の内容
1. 新たに放射線業務従事者に 指定する者の教育訓練	(自社員) 29名 (自社員外) 53名	関係法令、施設の概要、放射線管理・放射線防護、異常時の措置、核燃料物質の臨界 安全管理、一般安全の教育等
2. 放射線業務従事者教育訓練	(自社員) 3,818名 (自社員外) 7,432名	就業中放射線業務従事者定期教育、放射線 業務従事者指定後教育、就業中安全衛生教 育、就業中電気従事者教育等
3. 防災訓練・保安等教育訓練	(自社員) 315名 (自社員外) 745名	通報連絡訓練、身体汚染時対応訓練、防護 具着脱装訓練、火災発生時対応訓練、就業 中電気従事者保安訓練等

3. 放射性廃棄物の保管量 (令和7年9月末現在)

11.511.		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	前回報告	10 bb 11 1
放射性廃棄物の種類		保管量	からの増減	保管能力
	高放射性廃液	約 362 m³	0 m ³	870 m ³
	低放射性濃縮廃液※1	約3,242 m³	+ 10 m ³ **2	$4,550$ m 3
放射性液体廃棄物	廃溶媒	約 106 m³	0 m^3	160 m^3
	スラッジ	約 1,162 m³	0 m^3	$3,110 \text{ m}^3$
	リン酸廃液	約 16 m³	0 m^3	20 m^3
	ガラス固化体※3	354 本	0本	420 本
放射性固体廃棄物	高放射性固体廃棄物※4	約6,989本	+ 22 本	10,320本
	低放射性固体廃棄物※4	約 76,885 本	+ 61 本	92,140 本

- ※1 アスファルト固化処理施設における処理前廃液(約 110 m³) 含む
- ※2 濃縮廃液及び濃縮廃液受入系統内の洗浄による増量
- ※3 キャニスタ本数
- ※4 200L ドラム缶換算

4. 廃止措置に係る広報実績

(1) プレスリリース等の実績

日付	件名
令和7年5月30日	再処理施設に係る廃止措置計画の変更認可について
令和7年6月25日	再処理施設に係る廃止措置計画の変更認可申請について(お知らせ)
令和7年7月18日	系統除染の開始について
令和7年9月17日	再処理施設に係る廃止措置計画の変更認可について

(2) 各種フォーラム等の実績

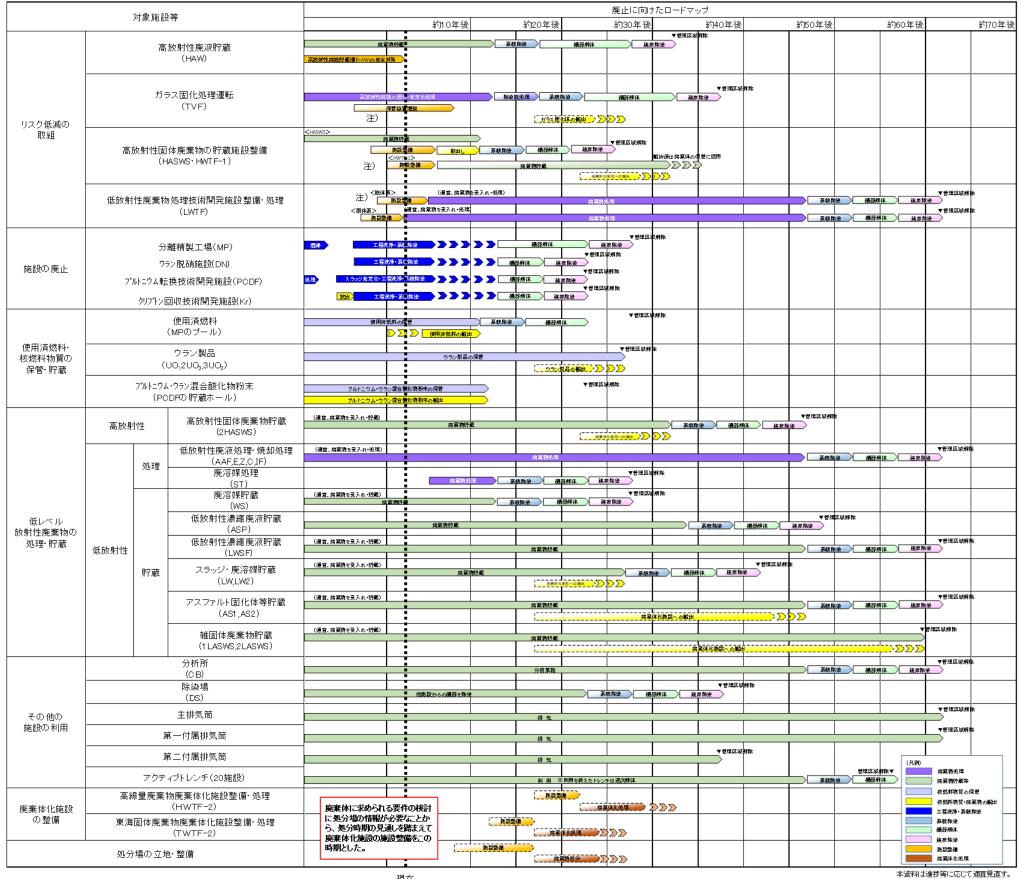
日付	件名	開催地
令和7年7月30日	日本保全学会 第 21 回学術講演会 (3 件)	島根
令和7年9月11日	日本原子力学会 2025 年 秋の大会(6件)	福岡

(3) 見学会の実績

見学者数:213名

東海再処理施設の廃止措置全体の工程

表1 廃止措置の全体工程



廃止措置計画変更認可申請・認可の実績

(<u>下線</u>は令和7年度上半期分の実績を示す。)

国への申請日【認可日】	件名	県同意日
平成 29 年 6 月 30 日 (平成 30 年 2 月 28 日補正) (平成 30 年 6 月 5 日補正) 【平成 30 年 6 月 13 日】	廃止措置計画(原申請)	平成 30 年 10 月 4 日
平成 30 年 10 月 10 日 【平成 30 年 11 月 30 日】	再処理施設に関する設計及び工事の方法の認可を 受けている案件について廃止措置期間中に工事を 行うことを明記,ガラス固化技術開発施設の工程 制御装置等の更新	対象外※1
平成 30 年 11 月 9 日 (令和元年 9 月 26 日補正) 【令和 2 年 2 月 10 日】	安全対策の検討に用いる基準地震動,基準津波, 設計竜巻及び火山事象	令和2年8月3日
平成 30 年 11 月 9 日	ガラス固化技術開発施設(TVF)における保管セルの保管能力の増強 ^{*2}	
平成 30 年 12 月 5 日 (平成 31 年 1 月 16 日補正) 【平成 31 年 2 月 18 日】	ガラス固化技術開発施設の溶融炉制御盤の更新, ガラス固化技術開発施設の固化セルのインセルク ーラの電動機ユニットの交換	対象外※1
平成 31 年 1 月 31 日 (平成 31 年 3 月 1 日補正) 【平成 31 年 3 月 29 日】	ガラス固化技術開発施設の溶融炉の間接加熱装置 (予備品)の製作及び交換	対象外※1
平成 31 年 1 月 31 日 (令和元年 8 月 13 日補正) 【令和元年 9 月 10 日】	動力分電盤制御用電源回路の一部変更,管理区域 境界に設置された窓ガラスの交換,分離精製工場 プール水処理系第2系統のポンプの交換,クリプ トン回収技術開発施設の浄水供給配管等の一部更 新,分離精製工場,放出廃液油分除去施設等への 浄水供給配管の一部更新,分離精製工場のアンバ 一系排風機の電動機交換	対象外 ^{※1}
平成 31 年 1 月 31 日 (令和元年 8 月 13 日補正) 【令和元年 9 月 10 日】	ガラス固化技術開発施設における放射線管理設備 の更新	対象外※1
平成 31 年 3 月 20 日 (令和元年 11 月 28 日補正) (令和 2 年 2 月 28 日取下)	性能維持施設の詳細,再処理維持基準規則を踏ま えた安全対策の実施範囲及び実施内容の整理,施 設定期検査を受けるべき時期	_
平成 31 年 3 月 20 日 (令和 3 年 8 月 6 日取下)	低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)の改造	
平成 31 年 3 月 20 日 (令和元年 8 月 13 日補正) 【令和元年 9 月 10 日】	アスファルト固化処理施設の浄水配管及び蒸気凝縮水配管の一部更新,第二アスファルト固化体貯蔵施設の水噴霧消火設備の一部更新	対象外※1
令和元年 12 月 19 日 (令和 2 年 5 月 29 日補正) 【令和 2 年 7 月 10 日】	再処理維持基準規則を踏まえた安全対策の実施内 容	令和2年8月7日
令和2年6月18日 (令和2年12月24日補正) (令和3年2月10日補正) 【令和3年6月30日】	再処理事業規則の改正に伴う廃止措置に係る品質 マネジメントシステムの追加等	令和3年9月30日
令和2年8月7日 【令和2年9月25日】 (令和3年9月14日変更届出)	再処理施設の技術基準に関する規則を踏まえた安 全対策の実施内容等	令和2年10月29日
令和2年10月30日 【令和3年1月14日】 (令和4年2月15日変更届出)	再処理施設の技術基準に関する規則を踏まえた安 全対策の実施内容等	令和3年1月27日

国への申請日【認可日】	件名	県同意日
令和3年2月10日 【令和3年4月27日】	再処理施設の技術基準に関する規則を踏まえた安全 対策の実施内容等	令和3年6月24日
令和3年6月29日 (令和3年8月6日補正) 【令和3年10月5日】 (令和5年3月17日変更届出)	再処理施設の技術基準に関する規則を踏まえた安全 対策の実施内容,ガラス固化技術開発施設(TVF)の 溶融炉の更新 ^{※2} 等	令和4年4月14日
令和3年9月30日 (令和3年12月1日補正) 【令和4年3月3日】	ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟の浸水防止扉の耐津波補強工事,プルトニウム転換技術開発施設(PCDF)管理棟駐車場における事故対処設備の設置工事,高放射性廃液貯蔵場(HAW)の火災防護対策に係る設備の設置,ガラス固化技術開発施設(TVF)の火災防護対策に係る設備の設置,高放射性廃液貯蔵場(HAW)の内部溢水対策に係る設備の設置,ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟の内部溢水対策に係る設備の設置,廃溶媒処理技術開発施設の蒸気配管の一部更新	対象外※1
令和3年12月17日 (令和4年3月1日補正) 【令和4年5月17日】	工程洗浄の方法	令和4年5月30日
令和4年6月30日 (令和4年11月28日補正) 【令和4年12月22日】	使用済燃料の搬出、安全対策等に係る性能維持施設 の追加等	令和5年1月23日
令和5年5月31日 (令和5年8月8日補正) (令和5年10月19日補正) 【令和5年10月30日】	スラッジ貯蔵場の津波対策における止水弁の設置、 焼却施設の空気圧縮機の更新、クリプトン回収技術 開発施設の空気圧縮機の制御系の改造	対象外※1
令和6年5月13日 (令和6年10月3日補正) (令和7年3月19日補正) 【令和7年5月29日】	系統除染計画等の追加	令和7年6月23日
令和7年6月25日 【令和7年9月16日】	ウラン脱硝施設 (DN)、高放射性廃液貯蔵場 (HAW) 及び第三低放射性廃液蒸発処理施設 (Z) の無停電電源装置の更新、高放射性廃液貯蔵場 (HAW) 及びガラス固化処理技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟の扉の強化工事、廃棄物処理場 (AAF)、スラッジ貯蔵場 (LW)、廃溶媒貯蔵場 (WS)、焼却施設 (IF) 及び廃溶媒処理技術開発施設 (ST) の火災防護設備の一部改造	<u>対象外^{※1}</u>

^{※1} 設計及び工事の計画の認可の申請において必要とされる事項のみの申請

^{※2} 原子力安全協定に基づく事前了解を要する新増設等計画